

資源循環型施設整備事業に係る環境影響評価方法書の説明会 概要 【秋和自治会】

1 開催概要

開催日時	令和4年5月11日（水）19：00～20：45	
開催場所	秋和児童センター	
出席者	住 民	24名（秋和地区住民20名）
	行 政	土屋広域連合長、吉澤上田市副市長、他関係職員12名
	報道関係	5社
説明要旨	①環境影響評価 方法書の手続と今後の手続 ②事業計画の概要	

2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	方法書評価項目（水象（地盤沈下））について	過去に周辺地域の井戸が枯れた事例があったが、承知しているか。	上田終末処理場の掘削工事に伴い、処理場近くの浅井戸が枯れたと聞いている。 環境影響評価において既存井戸も調査地点としたいと考えており、情報提供をお願いしたい。
2	方法書評価項目（土壌汚染）について	土壌汚染についての考えはどうか。	方法書で示した5地点で、有害物質の土壌汚染調査を計画している。 他に安心の観点から、心配な事項があれば教えていただきたい。
3	環境影響評価（配慮書の手続）について	配慮書の手続が済んだというのは、自治会の了承を得たとの理解でよいか。	長野県の条例に基づく手続が終了したことを意味する。
4	環境影響評価（方法書の手続）について	方法書説明会が済めば、方法書の手続が済んだことになるのか。	本日を含め計7回の説明会や意見書で住民意見を聴取し、長野県環境影響評価技術委員会の審議を経て、最終的に長野県知事からの意見を受領して方法書の手続きが完了となる。

No	項目	質問・意見等	回答
5	健康の影響について	ごみ焼却施設に起因する健康への影響が心配だ。既存施設周辺住民に健康への影響があったのか教えてほしい。	<p>廃棄物処理施設は、人の健康の保護及び生活環境の保全を維持するために環境基準を守っている。ごみ焼却施設近隣であることを理由とした健康被害の事例は確認されていない。</p> <p>資源循環型施設においては、より安全な施設とするため、環境基準よりさらに厳しい自主基準値を設ける。</p>
6	防災(水害対策)について	堤防強化による水害対策をどう考えているか。	千曲川堤防道路を廃棄物運搬車両の搬出入ルートとしたい。管理者である国と協議し、道路拡幅も兼ねて堤防強化を図りたい。
7		施設の水害対策をどう考えているか。	<p>100年に1度の確率の大雨に対しては、ごみを処理する機能を失わないこと、1000年に1度の確率の大雨に対しては、構造を守り速やかに機能復旧できることを基本として対策を講じる。</p> <p>詳細は現在策定中の、施設基本計画でお示しする。</p>
8	防災について	施設が被災した場合の環境影響は想定しているか。	被災時の対応や防災対策については、現在策定中の施設基本計画でお示しする。
9		施設整備と防災対策を合わせて検討していくべきではないか。	御指摘のとおり、施設基本計画で具体的な防災対策を検討する。
10	施設設計について	配慮書で、煙突高さ59メートルと80メートルの検討をしていたが、決定したのか。	総合的な比較検討の結果、高さ59メートルとした。

No	項目	質問・意見等	回答
11	事業の進め方について	環境対策及び安全対策について十分検討し、住民に分かりやすく説明してほしい。	意見のみ。
12		長年に渡り処理施設を受け入れてきた。新しく建設する資源循環型施設のみでなく、下水道終末処理場など周辺の既存施設も含めた地域全体のことを考えてほしい。	<p>秋和地域の皆様には御理解いただき、暮らしを守る様々な重要施設を受け入れていただき深く感謝している。</p> <p>環境影響評価の進め、安全・安心な施設であることを御理解いただけるよう丁寧に説明していきたい。</p> <p>また、地域振興を含むまちづくりについても並行して取り組んでまいりたい。</p>
13	地域のまちづくりについて	地域振興策は、建設候補地周辺だけの事業なのか、それとも我々の居住地域である塩尻地区の要望も検討してもらえるのか。	<p>地域に暮らす皆様の生活に根ざした要望も大切だと考えている。</p> <p>資源循環型施設周辺のまちづくりと、各自治会の要望、両方を合わせて住みよいまちづくりを一緒に進めてまいりたい。</p> <p>今後、各自治会で要望をとりまとめ、協議いただきたい。</p>
14	迷惑施設について	現上田クリーンセンターの近くに住宅地が造成された。風評被害や迷惑施設に対し、住民の考え方が変わってきたのではないか。	<p>近年、上田クリーンセンターに対する特段の苦情等はない。</p> <p>地元の泉平自治会に対しては、毎年ダイオキシン類調査結果を報告し、御理解いただいている。</p>

No	項目	質問・意見等	回答
15	迷惑施設について	資源循環型施設が建設されたことにより、周辺の地価が低下した場合、補償する考えはあるか。	<p>廃棄物処理施設を整備することで新たな価値を創出し、可能な限り地域価値を低下させない地域振興策を実施していきたい。</p> <p>補償対応については、今後研究してまいりたい。</p>
16	ごみ減量化について	資源循環型施設の最大処理能力を 144 トン/日と算定した前提となる、ごみ減量化施策の進捗状況はどうか。	<p>市内全域に生ごみの自己処理をお願いするとともに、自己処理が困難な地域を対象に、生ごみを分別収集して堆肥化する施設整備を検討している。</p> <p>令和 3 年度から、丸子地域の塩川地区陣場台地を建設候補地とし、地元自治会の皆様に説明している。臭気対策についての住民意見が多く、施設周辺整備についても御意見をいただいている。</p> <p>現在は、施設の基本設計と生活環境影響調査を進めており、建設の御理解が得られるよう、地元の皆様へ丁寧に説明していきたい。</p>
17	上田クリーンセンターにおける受託業者による不正行為について	以前、委託業者が不正行為をしたとの報道があったが、事実関係と再発防止策の考えはどうか。	<p>受託業者から報告を受け、また過去の運転記録等を確認し、資源循環型施設の計画処理能力等への影響がないことは確認できたが、重大な違反行為であり、地域住民の皆様の信用を失墜させたことを重く受けとめている。</p> <p>再発防止策として、委託業者と上田クリーンセンター職員による運転状況の 2 重チェックのほか、作業現場への抜き打ち検査等を行っている。</p>